

研究・調査報告書

| | |
|---|----------------|
| 報告書番号 | 担当 |
| 68 | 滋賀医科大学福祉保健医学講座 |
| 題名（原題／訳） | |
| Cigarette smoking, alcohol drinking, hepatitis B, and risk for hepatocellular carcinoma in Korea 韓国におけるタバコ喫煙、飲酒、B型肝炎と肝細胞がんのリスク | |
| 執筆者 | |
| Jee SH, Ohrr H, Sull JW, Samet JM | |
| 掲載誌（番号又は発行年月日） | |
| J Natl Cancer Inst 2004;96:1851-6. | |
| キーワード | |
| 喫煙、飲酒、ウイルス性肝炎、肝細胞がん | |
| 要 旨 | |
| <p>韓国の健康保険加入者男女 13 万人弱を 9 年間追跡したコホート研究より、肝がん死亡者のリスクを検討したものである。追跡開始時がんであった人を除き、追跡期間中に 3,807 人の肝細胞がん死亡者があった。喫煙、飲酒、B 型肝炎ウイルス表面抗原陽性の有無を調査し、その後の肝細胞がん死亡のリスクを多変量解析にて分析した。B 型肝炎ウイルス表面抗原検査をしたのは、約 47%であった。</p> <p>現在喫煙者は、男性では 1.4 のリスクで、女性ではでなかった。B 型肝炎ウイルス表面抗原陽性者は、陰性者に比して男性では 24.3 倍、女性では 54.4 倍であった。多量飲酒者は（純アルコール 50-99 g/日）は B 型肝炎ウイルス表面抗原検査をした対象者のみで、1.5 倍で有意であった。喫煙、飲酒、B 型肝炎ウイルス表面抗原検査の間には交互用はなかった。</p> <p>以上の結果から、喫煙、飲酒、B 型肝炎ウイルス表面抗原陽性は、お互いに独立した肝細胞がん死亡のリスクであるといえる。女性の B 型肝炎ウイルス表面抗原陽性者で特に高かった点については、今後の研究が必要としている。</p> <p>13 万人のコホートによる検討としての価値は大きい。</p> | |